

# 舵輪

第175号

2026年 4月 発行



舵輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

## 着任の挨拶

### 齊藤二等航海士

奈良県から来ました、齊藤瑞己(さいとう みずき)です。大学卒業後は海技教育機構の練習船に勤め、今年4月より海王丸財団に配属されました。ここでの勤務を通して帆船を大切に出来る力を身に付けたいと思っています。初めての陸上勤務に不安はありますが、富山県の素敵なところを沢山発見して馴染んでいきたいです。よろしくお願いします。



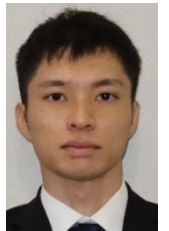
### 松尾技術員

この度、4月1日で海王丸財団の技術員に配属になりました松尾です。2回目の富山での生活です。精一杯努力して1日でも早く皆様の役に立てるよう仕事をしていこうと思います。どうぞよろしくお願いします。



### 和田技術員

この度、4月1日で海王丸財団の技術員に配属になりました和田です。初めての陸上勤務で緊張していますが、よろしくお願いします。



### 中林事務局長

令和8年4月より富山県から伏木富山港・海王丸財団に派遣となり、事務局長を拝命しました中林です。3年前には総務課長として在任しておりました。久しぶりに海王丸パークで勤務できることを大変嬉しく思います。



海王丸は、1930年の竣工から96年目を迎え、大規模修繕の時期にきています。そのような節目の時期に当財団に配属され、身が引き締まる思いです。

また、当財団が管理する海王丸パークは、雄大な立山連峰と美しい富山湾、迫力ある新湊大橋を背景に、海の貴婦人と呼ばれる海王丸の優雅な姿を楽しむことができ、1年を通して総帆展帆をはじめとする様々な行事・イベントが開

催されており、県内外から多くの方々が訪れる人気の観光スポットとなっています。

今後も海王丸パークや帆船海王丸の素晴らしい魅力を広く発信し、より多くの方々に訪れていただけるよう、財団の皆様と力を合わせて頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 多田マリーナ課長

4月1日付けで事務局次長・マリーナ課長を拝命いたしました。新湊マリーナや海王丸の修繕を担当します。前職は富山県職員で、長く富山市内のまちなかの建物で仕事をしておりました。そのせいか、職場から海が見える風景は、なんとも新鮮で、「よし頑張るぞ」という気分になります。



帆船海王丸は、令和12年に、建造から100年、また、現地での公開から40年を迎え、近く大規模な修繕が予定されています。海王丸を愛する多くの方々とともに、これに関わっていけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 川村総務課長

4月異動により、県から伏木富山港・海王丸財団総務課に派遣となりました川村吉章です。



射水市在住の私にとって、海の貴婦人と称される「帆船海王丸」を中心に県内外の皆さんから愛されている「海王丸パーク」で働く機会を得たことは大きな喜びです。職員が安全に働ける環境づくり、そして何より訪れる方がより笑顔になれるパークづくりの一助となれるよう励みます。

## 退任の挨拶

### 藤井二等航海士

ボランティアの皆様、こんにちは。このたび4月いっぱいをもちまして二等航海士の職を退任することとなりました。ボランティアの皆様には多大なるご支援とご協力を賜り、心より感

謝申し上げます。私の在任期間中にボランティアとなり師のように慕ってくれた方、親のような目線で私の仕事ぶりを見守って下さった方、富山での皆様との出会いは私の宝物です。本当にありがとうございました。心残りなのは在任中の総帆展帆の回数が少なく、ボランティアに十分な経験を積んでいただくことができなかったことです。ボランティアの皆様、今後とも帆船海王丸をどうぞよろしくお願いいたします。また遊びに来ます！



### 堀業務技師

令和8年3月をもって退職しました。皆様お世話になりました。

### 中山技術員・山口技術員

令和8年3月を以て、練習船に戻りました。皆様お世話になりました。

### 川原事務局長

4月に派遣元の富山県に戻りました前事務局長の川原です。財団在任中は大変お世話になり、この場をお借りしてお礼申し上げます。



富山県を代表する観光スポットである海王丸パークにおいて、四季折々の姿を見せる帆船海王丸を見ながらの勤務は私にとって一生忘れられない思い出となることでしょう。これからも、約100年の歴史を紡いできた帆船海王丸がいつまでも美しい姿を披露し続けることができますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

### 表総務課長

4月に派遣元の富山県に戻りました前総務課長の表です。財団では3年間お世話になり、

この場をお借りしてお礼申し上げます。

着任して間もなく海王丸の総帆展帆を初めて見た時、そのあまりの美しさに息をのみました。総帆展帆は高所での危険を伴う作業でもありますが、安全を最優先にした、海事課職員の方々による見事な統制のもと全てのボランティアの方々が連動し、一糸乱れぬその姿は荘厳で、芸術的でした。

海王丸が大規模修繕に向かうためパークを離れる時は、何を置いても見にきたいと思います。最後に、海事課職員、ボランティアの方々の今後益々のご健勝を心からお祈り申し上げます。3年間、ありがとうございました。

## 新人ボランティア研修

令和7年度から初めての取組みとして、9月に「新人ボランティア研修（任意研修）」を実施しました。参加者は総帆展帆への参加回数が0～2回までのボランティアとし、基礎的なことを復習する機会としました。ハーネスの着用方法や、シュラウドへの取り付け方など、1度は覚えた作業や動作でも時間が経つと忘れてしまうことがあるだろうと思います。都度復習し、わからないことは何でも海事課に聞いて下さい。ボランティア全体でスキルの向上に努めていきましょう！

令和8年度も新人ボランティア研修を実施する予定です。ベテランボランティアさんもお手伝いに来て頂けると嬉しいです！是非ともよろしくお願い致します。

## 登櫓礼について

10月18日（日）に登櫓礼を実施しました。本来は「海の日」に合わせて、7月の総帆展帆日に実施しておりましたが、今年は悪天候のため、今年度最後の総帆展帆日に実施としました。肝心の展帆は登櫓礼の途中から風が強くなったため中止。登櫓礼のみ実施となりました。2年振りとなる登櫓礼はボランティアの皆さん

がとても生き生きとされていて、実施することができて良かったとしみじみ感じました。

令和8年度からは、海の日に‘登櫓礼のみ実施’させていただくこととしました。総帆展帆は行いませんが、ボランティアの皆さんと「海の日おめでとーう！」と発声できることを楽しみにしています。予定を空けておいてくださいね。



## 令和7年度登録ボランティア

令和7年度は新規養成訓練を5回実施し、42名の方が新たなボランティアとして登録されました。最近では県外の方も増えており、42名中22名の方が県外からのご参加です。海王丸ボランティアも全国規模となってきており大変嬉しく感じます。新規ボランティアの皆様にはなるべく早く作業を覚えていただきたく、展帆に積極的に参加していただきたいと思っています。またベテランボランティアさん達は新人ボランティアさんが困っていれば優しく教えていただきたいと思っています。みんなで助け合う、良い雰囲気を作っていきましょう！もちろんベテランボランティアさん達もわからないことがあれば海事課職員に気兼ねなく聞いて下さい。積極的にコミュニケーションを取っていきましょうね！

## アンベンディングセイル

秋に実施したアンベンディングセイルは予定日の悪天候が予想されたため、平日に振り替えて実施しました。急遽募集したにも関わらず10名の方にお集まりいただきました。誠にありがとうございました。アンベンディングセイルでの作業は、セイル降下時や点検、運搬等、多くの人手を要します。今後も天候次第で日程が変更になる場合がございます。皆様のお力添えをいただけますと幸いです。

## ボランティアの集い

12月7日(日)クロスベイ新湊にて、ボランティアの集いを開催しました。年に1度の大切な会です。皆さんの親睦を深めていただく良い機会となれば嬉しく思います。ボランティア表彰では今年は6名の方が受賞されました。おめでとうございます。今後も皆様の活躍を期待しております！どうぞよろしくお願ひします。

### 展帆ボランティア 受賞者

<海王シルバー賞> - 150回以上参加

No.530 和田 耕一

<海王賞> - 100回以上参加

No.248 岡崎 真理 No.690 浅井 保明

No.706 色部 春夫 (敬称略)

### 甲板ボランティア 受賞者

<紺青賞> - 250時間以上参加

No.124 森田 恵子 No.275 水口 勝務 (敬称略)

また、今年も集いの日の午後に餅つきを実施しました。例年に比べて参加者も多く、賑やかで楽しい餅つきでした。今年も開催の希望があればボランティアの有志の方と一緒に準備していきます。お声掛けお待ちしております！今回初めて参加された方も、毎年餅つきを楽しみにしてらっしゃる方も、普段の展帆作業では見られないような幸せな表情を見ることができ、心があたたまりました。総帆展帆だけでなく、このようなボランティア行事にも積極的に参加いただくと嬉しいです。



## 大規模修繕にむけて

皆さま、新聞やネットニュース等でご存じの通り、海王丸の大規模修繕工事を令和9年9月から計画しています。どのような工事を行うのか、舵輪でも順次発信していきます！今回は第1弾「マスト・ヤード等の帆装艀装改修工事」についてです。毎年手入れをしているものの、腐食が進み、トップ及びゲルン台の木部床の張替えが難しい状態です。よって、この機会に①トップ台・ゲルン台の更新、②ステイの更新、③シュラウドの更新などを計画しています。二等航海士も台の更新にむけてメジャーを持ってマストに登って採寸したり、

ステイ、シュラウド補修に必要な材料も今年度から準備しているところです。

これからも安心して総帆展帆に参加していただけるよう、大規模修繕でしっかり修繕して参ります。次回の舵輪では、また他の工事内容についてご紹介いたします。

## 編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございます。藤井が書く最後の舵輪となりました。

富山に来て、美味しい食べ物やきれいな景色に出会うことができ、充実した富山ライフでした。財団の仕事は幅広く、船に乗っている時にはできなかったことに沢山挑戦させていただきました。またどこかでお会いできることを楽しみにしています！(ふ)



舵輪 第175号

発行日 2026年4月

E-mail

by-the-wind@kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

〒934-0023 富山県射水市海王町8番地

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

URL <http://www.kaiwomaru.jp>